

杉山正明博士著作目錄

著書・編著

大モンゴルの世界——陸と海の巨大帝國

クビライの挑戦——モンゴル海上帝國への道

再販・クビライの挑戦——モンゴルによる世界史の大轉回

中文版・忽必烈的挑戰——蒙古帝國與世界歷史的大轉回 周俊宇譯

角川書店 一九九二年 六月

朝日選書朝日新聞社 一九九五年 四月

講談社學術文庫講談社 二〇一〇年 八月

廣場出版 二〇一二年 九月

社會科學文獻 二〇一三年 六月

八旗文化 二〇一四年 四月

講談社現代新書 講談社 一九九六年 五月

講談社現代新書 講談社 一九九六年 六月

社會科學文獻 二〇一五年 二月

白帝社 一九九六年 七月

山川出版 社 一九九七年 七月

中央公論社 一九九七年 八月

日本經濟新聞出版社 一九九七年 一〇月

日本經濟新聞出版社 二〇〇三年 一月

日本經濟新聞出版社 二〇一一年 七月

中華工商聯合北京時代華文出版社 二〇一四年 四月

岩波書店 一九九七年 一月

耶律楚材とその時代

中國史③ 五代——元 世界歴史大系(斯波義信らと共著)

世界の歴史⑨ 大モンゴルの時代(北川誠一と共著)

遊牧民から見た世界史——民族も國境もこえて

再販・日經ビジネス人文庫

増補版・日經ビジネス人文庫

中文版・遊牧民の世界史 黃美蓉譯

講座世界歴史⑪ 中央ユーラシアの統合 編著

中國史(岸本美緒らと共著)

世界史を變貌させたモンゴル——時代史のデッサン

逆説のユーラシア史——モンゴルからのまなざし

モンゴル帝國と大元ウルス

NHKスペシャル文明の道⑤ モンゴル帝國(弓場紀知らと共著)

遼文化慶陵一帯調査報告書二〇〇五(古松崇志らと共編著)

二一世紀COEプログラム グローバル化時代の多元的人文學の據點形成

京都大學大學院文學研究科

疾驅する草原の征服者——遼西夏金元 中國の歴史⑧

講 談 社 二〇〇五年一〇月

中文版・疾馳的草原征服者——遼西夏金元——

講談社 中國の歴史⑧ 烏蘭・烏日娜譯

中國歴史研究入門(岸本美緒等と共編著)

廣 西 師 範 大 學 二〇一四年一月
名古屋大學出版會 二〇〇六年一月

モンゴルが世界史を覆す

日經ビジネス人文庫 日本經濟新聞出版社 二〇〇六年三月

中文版・顛覆世界史的蒙古 周俊宇譯

大地の肖像——繪圖・地圖が語る世界(藤井讓治等と共編著)

京都大學學術出版會 二〇〇七年三月

興亡の世界史⑨ モンゴル帝國と長いその後

講 談 社 二〇〇八年二月

世界の歴史⑨ 大モンゴルの時代(北川誠一と共著)

中公文庫中央公論新社 二〇〇八年八月

興亡の世界史⑩ 人類はどこへ行くのか(福井憲彦等と共編著)

講 談 社 二〇〇九年四月

ユーラシア中央域の歴史構圖——二三〜一五世紀の東西

(窪田順平編・小野浩らと共著)

ユーラシアの東西——中東・アフガニスタン・中國・ロシアそして日本

総合地球環境學研究所 二〇一〇年三月

京都御所西一松町物語

日本經濟新聞出版社 二〇一〇年二月

ユーラシアの東西を眺める(窪田順平編・中西龍也らと共著)

日本經濟新聞出版社 二〇一一年一月

大モンゴルの世界——陸と海の巨大帝國

総合地球環境學研究所 二〇一二年三月

你的中國元朝我的世界蒙・日本人眼中的蒙古和中國人不一樣！

角川ソフィア文庫 二〇一四年二月

(共二冊忽必烈的挑戰战十顛覆世界史的蒙古)

歷史屋のたわごと① 時空をこえた旅へ海の國の記憶五島列島

八旗文化 二〇一四年二月

歷史屋のたわごと② ユーラシアの視點から露伴の運命とその彼方

平凡社 二〇一五年一月

モンゴル帝國と長いその後

講談社學術文庫 二〇一六年四月

譯書・監修

大モンゴル①—④

角川書店 一九九二年四月

モンゴル帝國の歴史(デイヴィッド・モーガン著・大島淳子と共譯)

角川選書 角川書店 一九九三年二月

學びの世界——中國文化と日本(木田章義らと共編著)

京都大學附屬圖書館・總合博物館・大學院文學研究科 二〇〇二年一〇月

京都大學附屬圖書館・總合博物館・大學院文學研究科

二〇〇二年一〇月

チンギス・カンとモンゴル帝國(ジャンポール・ルー著・田邊希久子譯・監譯)

創元社 二〇〇三年一〇月

「知の再發見」雙書一一一

創元社 二〇〇三年一〇月

繪圖・地圖から見た世界像(藤井讓治らと共編)

京都大學大學院文學研究科 二〇〇四年三月

流砂の記憶をさぐる——シルクロードと中國古代文明（林梅村著・監修） 日本放送出版協會 二〇〇五年 三月
遼文化・遼寧省調査報告書二〇〇六（承志らと共編）

二一世紀COEプログラム・グローバル時代の多元的人文學の據點形成

續・ユーラシアの東西を眺める 編集 京都大學大學院文學研究科 二〇〇六年 三月
京都大學大學院文學研究科 二〇一四年 六月

論 說

モンゴル帝國の原像——チングス・カンの一族分封をめぐって 東洋史研究第三七卷第一號 一九七八年 六月

幽王チユベイとその系譜

——元明史料と『ムイツズルーアンサーブ』の比較を通じて 史林第六五卷第一號 一九八二年 一月

幽王出伯及其世系

——元明史料與《穆伊茲安薩布》之比較—— 特克希譯 蒙古學信息一九八二年第三期 一九八二年 九月

クビライ政權と東方三王家——鄂州の役前後再論 東方學報第五四號 一九八二年 三月

ふたつのチャガタイ家 明清時代の政治と社會 小野和子編 京都大學人文科學研究所研究班報告書 一九八三年 三月

クビライと大都 中國近世の都市と文化 梅原郁編 京都大學人文科學研究所研究班報告書 一九八四年 三月

日本蒙元史研究及波斯文史料利用情況 曉克譯 蒙古學資料與情報 一九八六年 四月

西曆一三二四年前後大元ウルス西境をめぐる小札記 西南アジア研究第二七號 一九八七年 九月

The Phags-pa Mongolian Inscription of the Buyantu-qayan's Edict in Yuanshi xian 元氏縣

Belonging to Cagayan-balaqasun.

The 'Phags-pa Mongolian Inscription of Toron-temür gayan's Edict

Memoires of the Research Department of the Toyo Bunko

(The Oriental Library), No. 46

一九八八年

イスタンブールのヌール・オスマニエ所藏 No. 3721

史 窓 第 四 六 號 一九八九年 三月

草堂寺閻端太子令旨碑の譯注

史 窓 第 四 七 號 一九九〇年 三月

元代蒙漢合璧命令文の研究 (一)

内陸アジア言語の研究第五號 一九九〇年 三月

東西文獻によるコデン王家の系譜

史 窓 第 四 八 號 一九九一年 三月

元代蒙漢合璧命令文の研究 (二)

内陸アジア言語の研究第六號 一九九一年 三月

西夏人儒者高智耀の實像

平成二年度科學研究費補助金總合研究 (A)、研究成果報告書

京都 大學 文學部 一九九一年 三月

モンゴルが「世界史」をひらく 鈴木董編 新書イスラームの世界史②

パクス・イスラミカの世紀

講談社現代新書講談社 一九九三年一〇月

八不沙大王の令旨碑より

東洋史研究第五二卷第三號 一九九三年二月

Some Remarks on Shu'ab-i Panigana

Proceedings of the 27th Meeting of Haneda Memorial Hall Symposium

on Central Asia and Iran, August. 30, 1993

The Proceedings of International Conference on Central Asian History, Kyoto 一九九四年 三月

大元ウルスの三大王國——カイシャンの奪權とその前後(上) 京都大學文學部研究紀要第三四號 一九九五年三月

忽必烈政權與東方三王家——再論鄂州之役前後

日本中青年學者論中國史——宋元明清卷 上海古籍出版社 一九九五年二月

世界史上におけるモンゴル帝國の意義

中世史講座⑪ 中世における地域・民族の交流 學生社 一九九六年十一月

中央ユーラシアの歴史構圖——世界史をつないだもの——

岩波講座世界歴史⑪ 中央ユーラシアの統合 岩波書店 一九九七年一月

史料とはなにか 講座世界歴史① 世界史へのアプローチ 岩波書店 一九九八年四月

大都と上都の間——居庸南北口をめぐる小事件より

平成八年度～平成一〇年度科學研究費補助金基盤研究(A)、研究成果報告書

礪波護編 中國歴代王朝の都市管理に關する總合的研究 京都大學大学院文學研究科 一九九九年三月

モンゴル世界帝國の成立 若松寛編

アジアの歴史と文化⑦ 北アジア史 同朋舍 一九九九年四月

モンゴルによる世界史の時代——元代中國へのまなざし——

世界美術全集・東洋編⑦ 元 小學館 一九九九年一〇月

關于八不沙大王令旨碑的石刻記載和釋讀 哈斯巴顏譯

羽田亨の人と生涯 京大東洋學の百年 蒙古學信息二〇〇二年第二期 二〇〇二年三月

元代中國は文化不毛の時代だったか 慶北史學(史學科創設五〇周年記念特輯號)第二五輯 二〇〇二年八月

アジア東西をつらぬく歴史の視野と方法 歴史學の最前線

二〇〇二年度史學會第一〇〇回大會記念シンポジウム・議事録 史 學 會 二〇〇二年一月

帝國史の脈絡——歴史のなかのモデル化にむけて

山本有造編 帝國の研究——原理・類型・關係 名古屋大學出版會 二〇〇三年二月

モンゴル時代のアフロ・ユーラシアと日本

近藤成一編 日本の時代史⑨モンゴルの襲來 吉川 弘 文 館 二〇〇三年二月

チンギス・カンのイメージ形成・時をこえた權威と神聖化への道程

網野善彦編 岩波講座天皇と王權を考える⑨ 生活世界とフォークロア

岩 波 書 店 二〇〇三年二月

東西の地圖が示すモンゴル時代の世界像 論集「古典の世界像」

平成一〇年度く平成一四年度文部科學省科學研究費補助金特定領域研究(A)、

「古典學の再構築」研究成果報告集V A04「古典の世界像」班研究報告

「古典學の再構築」總括班 二〇〇三年 三月

東西の地圖が示すモンゴル時代の世界像 國際Symposium 一五—一六世紀の東Asia地圖(ソウル大學湖巖館)

日本京都大學 一五・一六・一七世紀成立の繪圖・地圖と世界觀 研究會&韓國誠信女子大學教

韓 國 地 理 研 究 所 二〇〇三年 三月

ポスト・モンゴル期の歴史研究にむけて——現状と課題についての覺書

平成一一年度く平成一三年度科學研究費補助金基盤研究(B)、研究成果報告書

志茂碩敏編 ポスト・モンゴル期におけるアジア諸帝國に關する總合的研究

二〇〇三年 三月

『征服王朝』と中國——小さな中國から大きな中國へ

The rise of China in Historical Perspectives, Seoul National University 二〇〇四年十一月

失われたキタイ帝國への旅 遼文化・慶陵一帯調査報告書二〇〇五 京都大學大学院文學研究科 二〇〇五年 三月

世界史の中のモンゴル帝國——アメリカは帝國たりうるか——

財團法人アジア太平洋研究會編 國際問題を「見つめる」

(財團法人アジア太平洋研究會設立三〇周年記念誌) ジャパン・タイムズ 二〇〇五年 八月

Mongol-Period Geographical Knowledge: A 15th Century Map of the world

Tetsuo Nakatsukasa, editor in chief.

Humaniora Kiotoensia: On the Century of Kyoto Humanities Graduate School of Letters Kyoto University 二〇〇六年

歴史を知ることと環境を考えること 日高敏隆十総合地球環境學研究所編

子どもたちに語るこれからの地球 講 談 社 二〇〇六年 七月

ユーラシア世界史から人類史へ——モンゴル時代から始まるなにか

紀平英作編 グローバル化時代の人文學・對話と慣用の知を求めて(上)

連鎖する地域と文化(京都大學文學部創立百周年記念論集) 京都大學學術出版會 二〇〇七年 三月

東西の世界圖が語る人類最初の大地平 藤井讓治ほか編

大地の肖像・繪圖・地圖が語る世界 京都大學學術出版會 二〇〇七年 三月

世界史はこれから——日本發の歴史像をめざして——

興亡の世界史⑳ 人類はどこへ行くのか 講 談 社 二〇〇九年 四月

モンゴル西征への旅立ち——イルティシユの夏營地にて——

窪田順平編 ユーラシア中央域の歴史構圖

総合地球環境學研究所 二〇一〇年 三月

知られざる最初の東西衝突——ジヨチと北廻りルート——

窪田順平編 ユーラシア中央域の歴史構圖

総合地球環境學研究所 二〇一〇年 三月

モンゴルの破壊という神話 窪田順平編 ユーラシア中央域の歴史構圖

総合地球環境學研究所 二〇一〇年 三月

世界史上中國文明的意義

國際漢學研究通訊第二號 二〇一〇年一〇月

描かれたアフロ・ユーラシア——モンゴル時代のイスラーム地圖と東西の諸都市——

窪田順平編 ユーラシアの東西を眺める

総合地球環境學研究所 二〇一二年 三月

被描繪的非洲、歐亞大陸——蒙古時代の伊斯蘭地圖及東西方各都市

博明妹・烏雲高娃譯

文化縱橫二〇一四年第四期 二〇一四年 八月

そ の 他

莫高窟の落書き

京都日中學術交流懇談會會報第一八號 一九八四年

内陸アジア・北アジア（一九八四年の歴史學界・回顧と展望）

史學雜誌第九四卷第五號 一九八五年 五月

日本蒙元史研究及波斯文史料利用情況

蒙古學資料與情報 一九八九年 四月

ラシード・ウッディーン『集史』データ・ベースはどう活用できるか

イスラームの都市性・研究報告 研究會報告編第七號

昭和六三年度文部科學省科學研究費補助金重點領域研究

比較の手法によるイスラームの都市性の總合的研究

「イスラームの都市性」事務局 一九八九年 三月

モンゴル帝國における首都と首都圏 イスラームの都市性・研究報告 研究會報告編第三四號

昭和六三年度文部科學省科學研究費補助金重點領域研究

比較の手法によるイスラームの都市性の總合的研究

「イスラームの都市性」事務局 一九八九年 五月

元朝治下のムスリム

シンポジウム「イスラームとモンゴル」

中近東文化センター研究報告第一〇號 一九八九年 七月

日本におけるモンゴル (Mongol) 時代史研究

中國史學第一號 一九九一年一〇月

豚と狼

京都女子大學宗教部 芬陀利華第一六五集 一九九一年一二月

草原のメトロポリス、カラコルム再現 大モンゴル②

幻の王プレスター・ジョン世界征服への道

角川書店 一九九二年 四月

海上國家への道程 大モンゴル③ 大いなる都巨大國家の遺産

角川書店 一九九二年 四月

フビライの帝都『大都』 大モンゴル③ 大いなる都巨大國家の遺産

角川書店 一九九二年 四月

世界史と遊牧民 世界史の構想 地域からの世界史二一

朝日新聞社 一九九三年一〇月

東アジア史となにか

あうろーら第二號 一九九六年 二月

モンゴル時代史研究の現状と課題 近藤一成編 宋元時代史の基本問題

汲古書院 一九九六年 七月

東西の文獻と風光をたずねて

——北京、イスタンブル、そして歴史——

あうろーら第四號 一九九六年 八月

New Developments in Mongol Studies :

A Brief and Selective Overview Neil Katokov (tr)

Journal of Sung-Yuan Studies, Volume 26 一九九六年

日本における遼金元時代史研究

中國——社會と文化第一二號 一九九七年 六月

大モンゴルから世界史が見える(中央アジア再発見)

This is 讀賣第八卷第一二號 一九九八年 二月

青花との出会い——東西融合の精華 故宮博物院⑦ 明の陶磁

N H K 出版 社 一九九八年 三月

世界史上の遊牧文明【特別企畫】モンゴルの風貌)

季刊民族學第二二卷第三號 一九九八年 七月

本田實信先生を偲ぶ

東方學 第九八號 一九九八年 七月

「蒼き狼」たちの歴史觀 樺山紘一編 歴史と文學

週刊朝日百科・世界の文學第一〇號 一九九九年 九月

足利と曲阜 足利學校釋奠記念講演筆記

足利教育委員會 二〇〇〇年 三月

マルコ・ポーロという人物は存在したのか 世界史のしおり

帝國書院 二〇〇〇年 四月

ユーラシア史へのまなざし——大航海時代以前の世界史

帝國書院 二〇〇〇年 四月

東洋文庫編集部編 東洋文庫ガイドブック

平凡社 二〇〇〇年 四月

用語解説・遊牧國家／遊牧騎馬文化 世界史のしおり

帝國書院 二〇〇〇年 四月

對談 上山春平對談シリーズ 第三回モンゴル學

古典學の再構築第七號 二〇〇〇年 七月

解説 田村實造編 大モンゴル帝國 中國文明の歴史⑦

中央公論新社 二〇〇〇年 八月

イラン・イスラーム文獻が描くモンゴル時代の世界像の研究

平成一〇年度～平成一四年度文部省科學研究費補助金特定領域研究(A) 一一八

「古典學の再構築」研究成果中間報告集

二〇〇〇年 九月

文明圏をこえて——モンゴル時代の世界像——

學術月報第五三卷第一一號 二〇〇〇年 十一月

特集古典學研究——現代における古典學の役割

學術月報第五三卷第一一號 二〇〇〇年 十一月

モンゴル時代の世界地圖——文明圏を超えて

平成一〇年度～平成一四年度文部省科學研究費補助金特定領域研究(A) 一一八

平成一〇年度～平成一四年度文部省科學研究費補助金特定領域研究(A) 一一八

「古典學の再構築」A04「古典の世界像」班

マルコ・ポーロが見たクビライの宮廷 北條時宗の時代

古典學の再構築第八號 二〇〇〇年二月
N H K 出版 二〇〇〇年二月

世界を襲った元寇 北條時宗

N H K 出版 二〇〇一年一月

用語解説…トクズIIオグズ族／猛安・謀克制 世界史のしおり

帝國書院 二〇〇一年一月

モンゴル帝國、アジア征服の猛威(總力特集北條時宗と蒙古襲來)

歴史と旅第二八卷第二號 二〇〇一年二月

モンゴル史が覆す元寇、そして時宗像

中央公論第一一六卷第四號 二〇〇一年四月

イリンチン先生を偲ぶ

大陸アジア言語の研究第一六號 二〇〇一年九月

地球環境學・古典學・歴史學(特集…地球環境學の現状と展望)

學術月報第五四卷第一一號 二〇〇一年一月

對談 世界史のなかでモンゴル襲來を読む(村井章介と對談)

歴史評論第六一九號 二〇〇一年一月

學者が斬る(四〇)

パシウトウン遊牧民の部族連合體IIアフガン國家の歴史

エコノミスト第七九卷第四七號 二〇〇一年一月

用語解説…

宇文氏／石敬瑭／カルルク族／ベンジケント 世界史のしおり

帝國書院 二〇〇二年一月

對談【ユーラシア】「陸の帝國(モンゴル)」と「海の帝國(ローマ)」から「空の帝國(アメリカ)」へ

——「馬と船」が東西に広がる世界史生誕の地を可能にした。そして二十一世紀には……

(歴史家の歴史觀を訪ねて「歴史認識」——つまり何なのか)(山内昌之・本村凌二と對談)

諸君第三四卷第六號 二〇〇二年五月

モンゴルから見た蒙古襲來 海・船セミナー二〇〇一

——蒙古襲來を再檢證する—— 船の科學館

日本財團海洋船舶部 二〇〇二年四月

後醍醐天皇のなぞ 第八回隱岐學セミナー報告書

西郷町教育文化振興財團 二〇〇二年 四月

ユーラシア東西の『中世』 田端泰子・細川涼一著

女人・老人・子ども（日本の中世四）附録月報

中央公論新社 二〇〇二年 六月

史料紹介 史料研究の新時代

歴史と地理（山川出版社）第五六四號 二〇〇三年 五月

世界史のなかのモンゴル帝國——アメリカは「帝國」たりうるか——

財團法人アジア太平洋研究會 APAFORUM 二〇〇三年 六月

骨太の元氣のである歴史學

圖書第六五八號 二〇〇四年 二月

「オリエント」とは何か

——東西の區分を超える（井本英一等との座談會）

別冊環第八號 二〇〇四年 六月

一九九一〜九二年草原の記

——呼吸を忘れた衝撃の書（司馬遼太郎 新しい日本の發見）

別冊太陽第一三〇號 二〇〇四年 八月

人類文明のダイナミズム一

風の旅人第九號 二〇〇四年 八月

人類文明のダイナミズム二

風の旅人第一〇號 二〇〇四年一〇月

「帝國」史へのデッサン——緒論の緒論として

二〇〇四年度歴史學研究會大會報告 グローバル權力としての「帝國」

——全體會 グローバル權力としての「帝國」 歴史學研究第七九四號 二〇〇四年一〇月

人類文明のダイナミズム三 中國北域への旅一

風の旅人第一一號 二〇〇四年一二月

對談 『モンゴル時代』から見る世界史（特集日本の中央アジア外交）（山内昌之と對談）

のち山内昌之『歴史と政治の間』岩波現代新書二〇〇六年七月に收録

人類文明のダイナミズム四 生態移民

外交フォーラム第一七卷第二二號 二〇〇四年二月

人類文明のダイナミズム五 ふたつの英雄像

風の旅人第一二號 二〇〇五年二月

人類文明のダイナミズム六 衝撃の皇帝陵——失われた歴史の発見

風の旅人第一三號 二〇〇五年四月

人類文明のダイナミズム七 幻想のシルクロード——時代による光と影

風の旅人第一四號 二〇〇五年六月

中國とユーラシアへのまなざし、そして世界

風の旅人第一五號 二〇〇五年八月

天山・イリ地域の歴史構圖——プロジェクトの課題設定にむけて——

本第三〇卷第一一號 二〇〇五年十一月

想い出の一冊——松平千秋譯『ヘロドトス』——

オアシス地域研究會報第五卷第三號 二〇〇五年十二月

チンギス・カンとモンゴル帝國（森川哲雄らとのパネルディスカッション）

靜脩第四三卷第一號 二〇〇六年八月

二〇〇六年（第一七回）福岡アジア文化賞市民フォーラム 二〇〇六年九月

忘れられない一日 松平千秋先生追悼文集

京都大學西洋古典研究會 二〇〇七年三月

討論——金浩東「モンゴル帝國期文化の交流と統合」の『命令文』の特徴と起源を中心に——

二〇〇七年三月

文化・受容と發展（第九回日韓・韓日歴史家會議二〇〇九年一〇月三〇日～十一月一日） 二〇一〇年二月

地圖が語る地球世界史への道

W E D G E 二〇一〇年三月

めぐりあい、そして来し方・行く末 奇跡は『チェ・リ・ピン・シエ』から

二〇一〇年三月

財團法人アンタレス山浦國際交流基金設立二〇周年記念誌 地域からの國際化をめざして 二〇一〇年五月

蒙古時代史研究的現状及課題 近藤一成編 宋元史學的基本問題

中 華 書 局 二〇一〇年五月

マルコ・ポーロの實像…二〇一〇年度史學研究大會講演要旨

史林第九四卷第一號 二〇一一年一月

歴史家がみる世界のいま(一)

静かな北京、かすかな憂愁…尖閣と劉曉波、そして「反日デモ」

究…ミネルヴァ通信創刊號 二〇一一年 四月

歴史家がみる世界のいま(二)

中東大震動のイメージと現實…「民主化ドミノ」は本當か

究…ミネルヴァ通信第二號 二〇一一年 五月

歴史家がみる世界のいま(三)

まだら模様で展開する世界…おもいがけぬ東日本大震災、リビアと中東、そして光と影の極端な現在

究…ミネルヴァ通信第三號 二〇一一年 六月

歴史屋のたわごと——現在・過去・未來① ひとつだけの地球、ともに生きる世界——

東日本大震災、そして蘇るチェルノブイリと阪神大震災の記憶

こころ 創刊號 二〇一一年 六月

歴史家がみる世界のいま(四)

あれから十年、そして次なるステージを待つ世界

究…ミネルヴァ通信第四號 二〇一一年 七月

歴史屋のたわごと——現在・過去・未來② 國境の記憶——

東西ドイツをへだてたシルクスクリーン

こころ 第二號 二〇一一年 八月

歴史家がみる世界のいま(五)

アフガン動亂は終息への道を歩むことになるのか…中東變容への新たなきざし

究…ミネルヴァ通信第五號 二〇一一年 八月

歴史家がみる世界のいま(六)

中國は鼓腹擊壤國家をめざせ…やわらかな民生安定か、もしくは威信國家への道か

究…ミネルヴァ通信第六號 二〇一一年 九月

歴史屋のたわごと——現在・過去・未来③ 海の國の記憶…五島列島(上)——

日本の西端、波濤をこえた挑戦《大陸と日本をむすんだ遣唐使船》 ころ 第三號 二〇二一年一〇月

歴史家がみる世界のいま(七)

中國高速鐵道の轉覆…ユーラシア横斷新幹線の野望は潰えたか 究…ミネルヴァ通信第七號 二〇二一年一〇月

歴史屋のたわごと——現在・過去・未来④ 海の國の記憶…五島列島(下)——

一八四九年、福江の夏《ささやかな小藩がつくった日本最後の城》 ころ 第四號 二〇二一年二月

歴史家がみる世界のいま(最終回)

英佛が開いた中東・百年の夢幻と混沌…『異形の王權』リビアの解放、次なる焦點はシリア 究…ミネルヴァ通信第八號 二〇二一年一月

歴史は何のためにあるのか——足利・京都・中國・世界の過去・現在・未来——

創立九十周年記念講演二〇二一年七月二三日—— 足高同窓會會報第二八號(創立九〇周年記念特集號) 二〇二二年 二月

歴史屋のたわごと——現在・過去・未来⑤ 露伴の『運命』とその彼方その二——

永樂帝とティムール、そして東西を見渡すとき ころ 第五號 二〇二二年 二月

歴史屋のたわごと——現在・過去・未来⑥ 露伴の『運命』とその彼方その二——

ユーラシアの東西をつなぐクラビーホの證言 ころ 第六號 二〇二二年 四月

歴史屋のたわごと

——現在・過去・未来⑦ 露伴の『運命』とその彼方その三 ころ 第七號 二〇二二年 六月

歴史屋のたわごと

——現在・過去・未來⑧ 露伴の『運命』とその彼方その四 ころ 第九號 二〇一二年一〇月
歴史屋のたわごと

——現在・過去・未來⑨ 露伴の『運命』とその彼方その五 ころ 第一〇號 二〇一二年二月

對談 『都市の魅力』を語る(栗原裕康との對談) 廣報ぬまづ第一四五二號(二〇一三年一月一五號) 二〇一三年一月
京都とユーラシア東西の首都 榎木謙周編

學際的・國際的視點にたつ京都學構築のための方法的探究 京都府立大學 二〇一三年三月

歴史屋のたわごと

——現在・過去・未來⑩ 露伴の『運命』とその彼方その六(完結編)

ころ 第一二號 二〇一三年四月

教科書ではわからないこの國の見方が變わる新しい日本史二〇

元寇の目的は中國兵のリストラだった

文藝春秋第九卷第二二號 二〇一三年一月

杉山正明談蒙元帝國的性質 劉瓊譯

上海書評 二〇一四年七月

史上最強帝國モンゴル支配力の祕密

文藝春秋 SPECIAL 二〇一五年季刊夏號 教養で勝つ大世界史講義

文藝春秋 SPECIAL 第九卷第三號 二〇一五年七月